

自分らしく
たくましく

高等部通信

豊かな感性を持ち、心身共に健やかな生徒 自分で考え、判断し、生活することを楽しむ生徒
お互いの良さを認め合い、共に活動する生徒 働くことを喜び、自ら社会に参加する生徒

宮城教育大学附属特別支援学校

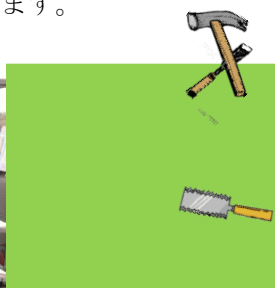
平成 29 年 4 月 28 日 (金) No.4

平成 29 年度，新作業班スタート！

今週から作業学習がスタートしました。作業学習は高等部の中心的な学習活動であり、働くための基礎的な態度や技能を身に付けることをめあてとしています。就業体験に向けても、大切な時間であると捉えています。木工班、陶芸班、総合サービス業班の三つの班に分かれて活動し、3年間を通して全ての班に所属することとなります。今年度は、創立 50 周年記念行事に向けて、陶芸班と木工班を中心に記念品の製作に取り組みます。記念品のデザインについては、昨年度から校長先生がバックアップしてくださっています。どんな記念品になるか今から楽しみです。総合サービス業班も、ラッピング用のラベルの製作に取り組む予定です。作業着を着ての本格的な作業が始まり、1年生には緊張した様子でしたが、先輩たちが温かくサポートするほほえましい様子も見られています。



陶芸班



木工班



総合サービス業班



外国語の授業が始まりました。

今年度、高等部ではタイムテーブルに外国語の時間を位置付けて取り組むことになりました。これを受けて、本校でも試行的に外国語活動の取組を開始しました。今年度は、職業グループをベースとして月 1 回の授業を行います。26 日(水)に早速、第 1 回目が行われました。グループごと、DVD の視聴や英語の歌、じゃんけんゲーム、知っている英語を発表し合うなど、様々な活動が行われました。本校は、大学に隣接していることから、英語科の先生や様々な国からの留学生など、たくさんの資源を活用し、生徒が楽しみながら外国語や外国の文化等に親しみ、学習できる授業を作っていきたいと考えています。



文責 (佐々木健太郎)